



いしわら



「褒める」より「認める」

校長 飯島 慶裕

今年の夏は、昨年よりもさらに暑く、夏休み44日間のうち、35度を超えた日は半分以上もありました。その暑い中でも、7月の盆踊りや朝のラジオ体操など、多くの子供たちが参加していました。地域の皆様、ありがとうございました。

さて、2学期は運動会を始め、展覧会や全校遠足等、全校で取り組む行事だけでなく、社会科見学や地域学習、連合音楽会など、学年によって様々な活動を行う予定です。子供たちは、日頃の学校生活を含め、様々な活動を通して日々成長しています。そのとき、周りの大人たちからの声掛けは、子供の力になりますが、「褒め方」次第では逆効果になることがあります。たとえば、子供がテストで百点を取ったときには、「すごいね」「頭がいいね」、運動会の徒競走で1等だったときには、「1等速かったね」などの褒め方をすることが多いと思います。でも、この言葉には、「百点だったから」「1等だったから」という結果を褒めているわけですから、そのように褒められてきた子供は、「百点でなければうれしくない」「1等でなければ自分はだめだ」という結果にこだわるようになり、そこまでの過程を楽しめなくなる可能性があります。「褒め方」次第では、「褒められること」そのものが目的となり、次も「どうやったら褒められるだろうか。」と考え、結果が出ずに褒められなくなると、やる気をなくし、やめてしまうかもしれません。

一人一人の子供が同じように頑張っても、満足のいく結果になるとは限りません。期待した結果でなかった場合は、褒めることが難しくなってしまいます。そこで、「難しい漢字の練習によく取り組んだね」「走る練習を何回もしたんだね」「いろいろな色鉛筆を使って工夫して描いたね」など、やったことそのものを認めたり、そこに至るまでの努力や工夫を認めたりすることが大切です。もし、子供の努力や取組の過程が分からないのであれば、「今までどんなことをがんばってきたの?」「今日はどんなところに気を付けてがんばったの?」と、子供に聞いてみてください。そこから、子供がどのように考えて努力したのか見えてくることと思います。

「認める」中でも最も大切なことは、子供の存在そのものを認めることだと思います。「あなたがいてくれるだけで嬉しい」「大好きだよ」ということは、日常思っている、口に出して伝えることは少ないのではないのでしょうか。子供は大人から、特に家族から「存在そのものを認められている」と感じると、長所も短所もある自分を「価値ある人間だ」と気付くことができます。自己肯定感をもった子供は、他者の違いを理解し、認め、思いやる気持ちも育ちます。

学校では、子供たちを励まし、大いに認めてさらなる成長につなげられるよう、2学期の様々な教育活動を進めてまいります。併せて、「そこにいることがすばらしい」という温かいメッセージを、保護者や地域の方と一緒に、子供たちに大切に伝えていきたいと思います。



運動会練習について

9月より運動会の練習が始まります。残暑が見込まれますので、**暑さ対策(水筒・汗拭きタオルなど)**をお願いいたします。また、連日の練習となりますので、衛生上の観点から週の半ばで体育着を持ち帰る可能性があります。体育着に代わる「**運動できる服**」を御準備ください。



道徳授業地区公開講座について

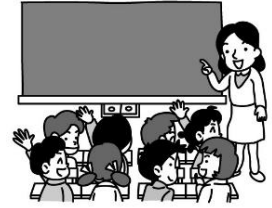
9月13日（土）に、道徳授業地区公開講座を実施します。

- ・ 2校時・・・公開授業(各教室)
- ・ 3校時・・・道徳授業(各教室)
- ・ 4校時・・・講演会 講師：三多摩学童保育連絡協議会 事務局長
村山 洋子 様

場所：体育館

※詳しくは、後日配布するお便りを御覧ください。

※授業中の動画・写真撮影は、御遠慮ください。



石原小学校児童への早朝見守り「みまモーニング」の施行実施

小学校入学後、朝の保育園の開始時刻と小学校の登校時間が異なることなどで生じる「朝の小1の壁」解消に向けて、学校始業前まで、見守り員（市が業務委託）が児童の見守りを行っています。

日時：学校登校時間前の平日7時30分から8時15分まで

場所：多目的室

対象：全学年の児童（保護者が希望する家庭の児童）

内容：読書やタブレット、友達との会話を楽しむなど、教室と同じように過ごします。

（けが・事故防止のため、遊具を使用した遊びは不可）

費用：無料

詳細は、市ホームページ（<https://www.city.chofu.lg.jp/100010/p054278.html>）を御覧ください。

お問い合わせ先：調布市教育委員会 教育総務課（042-481-7144）